

白河市自治基本条例を考える市民会議において実施したアンケート結果  
白河市自治基本条例を考える市民会議委員数：29名  
アンケート実施期間：平成24年5月14日～28日

## 白河の良いところ・悪いところ

市民会議の中で、これからよりよい白河市を築いていくには、まず、白河の良いところと悪いところをまちづくりの各主体が理解することが第一で、良いところはより活かす、悪いところは改善するという方向性を出してまちづくりを進めていく必要があるのではないかという意見が出ました。

そこで、委員のみなさんが日頃感じている、白河の良いところ・悪いところについて、聞いてみました。

### ○良いところ

#### 【コンパクトシティ】

- ・ 新白河駅、白河駅近辺に居住している限りにおいては、日常の買い物、東京等へのアクセス、自然のある環境、文化施設等、コンパクトなエリアの中で手を伸ばすことが可能であり、利便性が高い。
- ・ 商業地、住宅地、自然の調和のとれたまち。
- ・ 周囲にはスポーツ、レジャーなどの趣味を楽しむ環境に恵まれている。
- ・ リングロード内に商業が形成されたコンパクトシティで住みやすい。

#### 【恵まれた交通体系・立地条件】

- ・ 自然に恵まれている一方で交通の便も良いため、大都市にも短時間で行ける住みやすいまちである。
- ・ 高速交通に恵まれている。
- ・ 幹線、高速道路、新幹線等、交通網の充実。
- ・ 東京と仙台の中間地点に位置する立地。
- ・ 交通の便が良い。
- ・ こみねっと（市内循環バス）が、公共施設や商業施設、駅、病院などを通り、高齢者や障害者が無料で乗れる。
- ・ 新幹線・在来線の駅、東北自動車道のインターが市街地から近く、交通の便が良い。出かけるにも、白河に来てもらうにも便利。

#### 【恵まれた歴史的、文化的資源】

- ・ 文化・伝統を残したまちなみ、歴史遺産が多く残っている。
- ・ 歴史的資産が多い。
- ・ 歴史のまち。
- ・ 歴史的建築物、花の名所などが中心部にコンパクトに集まり、歩いてまわれる。

白河市自治基本条例を考える市民会議において実施したアンケート結果

白河市自治基本条例を考える市民会議委員数：29名

アンケート実施期間：平成24年5月14日～28日

- ・ 歴史、文化、自然が豊か。
- ・ 店ごとにこだわりのある手打ち白河ラーメン、そばの店がたくさんある。食べ比べてお気に入りの店を見つけるのが楽しい。

#### 【恵まれた自然環境や美味しい農作物】

- ・ 自然が豊か。
- ・ 野菜、米、面等、食に恵まれている。
- ・ 野菜、果物、豚肉など、農産物が新鮮で美味しく安い。
- ・ 水道水でもおいしい。

#### 【災害に強い】

- ・ 災害に強い立地。
- ・ 地盤が固い。

#### 【地域のつながり、住民気質】

- ・ 良くも悪くも、地域行事に半強制的に参加しなければならない空気が残っており、地域コミュニティの存続が図られている。
- ・ 近所、友人間でおすそ分けの文化が残っている。
- ・ 人情味が豊か。
- ・ まちの格式や住民のプライドが高い。
- ・ のんびり穏やかな気質の人が多し。あまり強く自己主張はしない。

#### 【その他】

- ・ 病院には困らない。
- ・ 東北だが積雪は少ないほうである。
- ・ かゆいところに手が届く行政。

#### ○悪いところ

##### 【PR不足・下手、低い知名度】

- ・ 美味しさをもっとアピールして、消費拡大を目指すべき。首都圏へは試食などでまず味を知ってもらおう。地元では調理方法を公募(うちの定番料理)などして、いつも違った調理で食べ方を工夫する。
- ・ PRがへた。
- ・ 知名度が低いように思われる。
- ・ なんでも揃っており、利便性も良い反面、特色がない。白河ブランドイメージが薄い。

白河市自治基本条例を考える市民会議において実施したアンケート結果

白河市自治基本条例を考える市民会議委員数：29名

アンケート実施期間：平成24年5月14日～28日

- ・ 情報発信、ブランド戦略が苦手。
- ・ それなりに充実している分、市のブランドイメージアップや将来性に対する危機意識が希薄。

#### 【街に活気がない、商業施設の不足】

- ・ 中心部に空き店舗が目立ち、さびれた感じがする。鍵型の道路や細い路地、一方通行など市街地は運転しづらい。
- ・ せっかく遊歩道、循環バスが整備されているので、観光客だけでなく、市民（特に元気な高齢者）が街なかで食事や買い物を2～3店舗寄り道して楽しめるよう工夫する。市内でお金をまわしていけるような仕組み。例えば、街なかの空き地に花を植え、草取り・水やりなどの世話をお願いし、サポーター得点割引で買い物。
- ・ 活気が無い。
- ・ 街に魅力が少なければ、市民も容易く市外へ行ってしまう。
- ・ 人口が増えない。
- ・ 娯楽施設がない。
- ・ 20～30代をターゲットにしたお洒落なイタリアン、カフェなどが少ない。
- ・ 高速交通網が発達している分、買い物など外に流出している。

#### 【交通が不便】

- ・ 車がないと生活が不便。
- ・ 道路が整備されていない。

#### 【住民気質】

- ・ 昔ながらの生活スタイルと新しい生活スタイルが混在しており、多様化した価値観がぶつかり合うケースがある。→常識の基準が人によってまちまち。
- ・ 昔ながらの世間体を気にするところがある。→新しい価値観に排他的。
- ・ 他所者を用意に受け入れない。排他的。
- ・ 他人や目立つ人の足を引っ張る傾向。
- ・ 不満を意見としてではなく愚痴に留めてしまう、不満→意見（提案）→話し合い→改善の流れで考え、改善のための意見は良いことという意識改革が必要。
- ・ 住民がのんびりしている。
- ・ 住民にそれほど白河への愛着がない。

#### 【まちづくり・人づくりの課題】

- ・ 市の将来像が見えない。

白河市自治基本条例を考える市民会議において実施したアンケート結果

白河市自治基本条例を考える市民会議委員数：29名

アンケート実施期間：平成24年5月14日～28日

- ・ 合併後も、それぞれの地域にバラバラに投資しており、合併のメリット・スケールメリットを生かしていない。
- ・ 白河を好きになってもらう、中高教育（政策）の不足。
- ・ 教育水準が低い。

#### 【その他】

- ・ 地方圏にありながら、家賃等の固定費が高止まりしているため、新規起業がしづらいのではないかとと思われる。那須塩原市と比較しても、物価は高めと感じる。
- ・ 各団体等の一体感が無い。
- ・ 空気が冷たい。寒さ。
- ・ 東北に立地している。